

## 各指定校における「いじめ未然防止プログラム」の特徴【中学校】

学校名	特 徴	該当ページ
北竜町立 北竜中学校	●地域の特色を活動に取り入れ、学校・地域が連携した取組を行っている。	◆34～35 頁 ■112 頁
北広島市立 西の里中学校	●異学年集団による交流を通して、生徒同士のつながりの大切さに気付かせるとともに、人との関わりを大切に、人を思いやる心を育てています。 ●「子ども大使交流」や『「雪明かりの路」プロジェクト』などを通じて、自分の住んでいる地域や学校のよさなどに気付くことができるよう、指導の工夫を図っています。	◆36～37 頁 ■113～114 頁
小樽市立 長橋中学校	●先輩から受け継いできた生徒憲章の内容を学校行事等のねらいと関連付けることにより、生徒同士が互いを尊重したり、思いやったりする心を育てています。 ●従前から活発に行っている生徒会活動や高齢者福祉施設、生徒が在籍していた小学校といった学校内外の資源を有効に活用するなど、指導の工夫を図っています。	◆38～39 頁 ■115 頁
登別市立 幌別中学校	●「ありがとう集会」や「ありがとうの木運動」を活動の柱とし、相手に感謝の気持ちを素直に伝えることができる生徒を育成しています。 ●いじめの未然防止の活動を補充・深化させるために、道徳の時間や総合的な学習の時間、縦割り班活動、コミュニティ・スクール事業等を意図的に関連付けています。	◆40～41 頁 ■116 頁
日高町立 門別中学校	●生徒同士はもとより、様々な人々の立場や考え、役割の違いを理解し、認め合ったり助け合ったりする心情や態度を育成しています。 ●生徒一人一人の学習状況に適切に対応する授業を行ったり、生徒会の行事を中心に、学級・学年との交流を推進したりするなど、指導の工夫を図っています。	◆42～43 頁 ■117～118 頁
木古内町立 木古内中学校	●先輩が後輩に対してリーダーシップを発揮し、学年の壁を越えた活動をメインに進めています。後輩はその姿を見て中学校における上下関係の在り方や、他者への接し方を学んでいます。 ●全校での取組を通して、思いやりある言動を取ることができるようになり、全校生徒が互いによりよい生活を送る関係を築いています。	◆44～45 頁 ■119 頁
上ノ国町立 上ノ国中学校	●既存の学校行事等を「いじめ未然防止」の観点でとらえ、ねらいを設定して取組を行っています。 ●異学年交流での生徒相互理解を図るとともに、学年による役割の違いを感じさせながら、生徒の規範意識を高める取組を進めています。	◆46～47 頁 ■120 頁
美深町立 美深中学校	●学校と地域社会がともに生徒を育てる体制を構築し、地域社会とかかわる多くの活動を推進することにより、生徒が地域社会の一員である自覚と責任感を高めています。 ●「ほっと」や班ノートの交流など、生徒理解の充実を図るとともに、得た情報を活用して「居場所づくり」に努めています。	◆48～49 頁 ■121 頁
小平町立 小平中学校	●本校の教育目標の1つである、「自ら考え、人格を高める生徒」の実現のために、「生徒一人一人を大切に学校」「地域社会の願いに応える学校」を掲げ、縦割り活動などの生徒同士の関わりを重視した活動の推進や、ゲストティーチャーなどの外部講師を多用した、地域とつながる活動を多く取り入れている。	◆50～51 頁 ■122～123 頁
枝幸町立 枝幸中学校	●入学式、体育祭、文化祭、卒業式において、応援パフォーマンスや全校合唱などの異学年集団による活動を行うことにより、全校生徒にメンバーシップを育てています。 ●除雪ボランティアや職場体験などの地域を生かした活動を通して、様々な立場の人々を理解し、自分たちが地域に貢献できることについて考えられるよう、指導の工夫を図っています。	◆52～53 頁 ■124 頁
網走市立 第二中学校	●学校行事において、生徒会が主体となり全校生徒でいじめの未然防止に取り組み、互いを理解する力や協力して問題を解決していく力などを育てています。 ●生徒が望ましい人間関係を築くことができるよう、構成的グループエンカウンターを学校行事と関連付けて行い、指導の工夫を図っています。 ●全教職員が教育相談を実施するなど、学校全体で全ての生徒を見守る体制を整備しています。	◆54～55 頁 ■125 頁
清水町立 清水中学校	●体育祭における「組体操」や文化祭の「巨大モザイク壁画」、そして十勝子ども大会で披露する「第九」の合唱など、全校生徒や複数学年が協力協働して取り組む活動が多い。そうした活動を通して、生徒が自らの手で『絆』をつくり上げ、生徒が自らの言葉と姿で伝統を引き継いでいくという、生徒の活動を中心とした学校づくりを進めている。	◆56～57 頁 ■126 頁
標茶町立 標茶中学校	●体育祭や文化祭での異年齢集団による交流や、文化祭・卒業式での全校合唱を通して、自分の役割を果たすことで、生徒に自己有用感や望ましい人間関係を築く力、社会性を育てています。 ●普段、思っていることを言葉で伝えることが苦手な生徒に配慮して、「担任への手紙」を年に3回実施することにより、生徒理解の方法について工夫を図っています。	◆58～59 頁 ■127 頁
根室市立 光洋中学校	●「全校構成的グループエンカウンター」など生徒会が中心となる活動を通して、望ましい人間関係を築くために必要なコミュニケーション能力を育成している。 ●ユニバーサルデザインを意識した授業づくりや、カウンセリングマインドを意識した学級づくりなど、生徒が安心して学習できる居場所づくりに努めている。	◆60～61 頁 ■128 頁

【注】「特徴」は「年間の取組計画」から抜粋。「該当ページ」は上段(◆)「マトリクス」「年間の取組計画」、下段(■)「主な活動」